就職活動応援特集

各社が誇る、現場で活躍する社員

現場と地域つなぐ、誇り

フソウ
エンジニアリング事業部 工事本部
西日本工事部 中国工事課 土木グループ長
森木 仁詩さん

■両親の背中が目標

建設業に従事している両親を見て育ち、同じ道に進みたいという思いから、大学では測量や土質、コンクリート構造物について学びました。就職活動時は高速道路の建設など大規模工事に関わりたいという気持ちもありましたが、人々の暮らしに欠かせない「水」に関わる会社であり、幅広く水インフラに携われることに魅力を感じフソウへの入社を決めました。

まず機械設備工事の現場に配属され、入社早々から現場代理人を務めましたが、うまくいかないことばかりでした。現場代理人は会社の代表であり、受注した工事現場の責任者です。1年目だから分からなくて当然という理由は通用しません。現場作業や書類の作成など、当時の上司や協力会社の方にずいぶん鍛えられました。その結果、安全でより良い品質のものを納めることが会社の信頼に、最適な工程での施工が協力会社にとっても安全で良い品質を守ることに繋がることを学びました。

■コミュニケーションを重視

コロナ対策として始業前に全員の体温測定、消毒、マスク着用を義務付けています。感染対策面での大変さはありますが、ミーティングのオンライン化が進んだことで、距離に関係なく以前よりもコミュニケーションを取りやすくなりました。

土木グループ長という立場ですので、部下の話は些細なことでもこまめに聞き、内容によっては上長に要望を伝えるなど、グループ全体の調整も図っています。会社としても働き方改革の一環で、現場環境をより良くしようとしてくれていますので、引き続き改善の努力をしていきたいと思います。

直近では取水場から配水池までの水道管（口径600㎜ダクタイル鋳鉄管）布設に携わりました。交通量も多く通学路にもなっていた片側1車線の中央車線付近への布設現場では、お客さまと協議の上、昼間工事を夜間工事に変更しました。現場代理人になれば自分の知識を活用して仕事ができますし、当社では若手がそのような立場で活躍できる環境があります。

子どものころ、現場監督をしていた父が現場に連れて行ってくれたことがありますが、かつての自分のように、「ここはお父さんが作ったんだよ」と胸を張って言える仕事を誇りに思っています。お客さまから「フソウに任せて良かった」、地元の方から「いつもありがとう」と言われることが何より励みになりますし、ちょっとした要望にも迅速に対応できるのが当社の強みです。今後も発注者との信頼関係を築くとともに、地域の声に寄り添い、人々の暮らしにより深く関わる仕事を目指したいと思います。

水を広く学び、個性を活かし

前澤工業
環境事業本部環境ソリューション事業部
官需推進部営業企画課 主任
田中 一輝さん

■個性的技術に惹かれ

前澤工業は、全国の官公庁にある上下水道などの処理施設で単体機器・装置の設計、製作、据付までを一貫して行う上下水道の水処理機械を扱う総合水処理プラントメーカーです。通常、機械というと単品での導入を想像するかもしれませんが、当社の特長は安定的な処理に向けてシステム的に開発から取り組んでいる点にあります。

私はもともと環境問題に対して意識を持っており、汚れた水をキレイに再生する水処理技術に興味がありました。大学では、前澤工業と官公庁も参加した実証試験に携わり、従来の技術に独自のノウハウを盛り込むことで、高効率な技術開発に挑戦する前澤工業の姿を間近で見ていました。環境問題が課題とされる中、独創的な視点でシステム技術開発を行っていた点に面白さを見出し、民間側から水業界に関わる道を選びました。

■経験が力に

今年で入社11年目になります。入社時から官公庁の上下水道事業の営業担当として勤務しており、現在は本社の営業本部を担う部署に所属しています。

今でこそ、一人で営業先を訪問することは当たり前になりましたが、入社時は当社が実施する「ブラザーシスター制度」の下、先輩社員から二人三脚でやり方を教わり、二年目から担当地域を任されるようになりました。

最初は教わったように実践しても、緊張に負けて上手くできないこともありましたが、先輩社員のフォローやサポートが手厚く、失敗を恐れず挑戦できる環境が当社にはあったので、失敗しても一つひとつ階段を上っていくことができました。

■入社後が本番

当社の良いところを挙げるとすれば、「自分の強みを活かせること」だと思います。私自身、実を言うと営業職ではなく技術職をやりたいと考えて入社しましたが、今では営業職として顧客や関係部署と連携を図ることに楽しさを見出し、改めてそれが強みであると自覚しました。就職先を選ぶにあたって重要なのは「仕事を通じていかに努力して知見を得ることができるか」であり、理系・文系などの考えに囚われて選択肢を狭める必要もないと思っています。さまざまな分野の人と関わりながら、水全般を学ぶことできる当社は幅を広げながら強みを活かした働き方を見つけることができます。

変わる3Kの 下水管内の仕事

真下建設
管路更生事業部技術第一課 技師
小彼 淳司さん

■北関東で事業展開

皆さんが住んでいる家などもそうですが、数十年経てば建て替えや改修が必要になりますよね。下水道管路についても同様に、すでに全国で約2万キロメートルものストックが老朽化に直面しています。直すにしても都市部の地下に張り巡らされた管路を掘り返すのは非効率ですし、何よりも住民生活にも少なからず支障が生じます。

掘り返さず、スピーディかつ経済的に直すことができる技術を「更生工法」と言いますが、当社は総合建設会社としてさまざまな事業基盤を持つ中で、管路更生事業を北関東一円で展開しています。SPR工法や光硬化工法で調べてもらえたら情報が出てきますが、その施工を一挙に担える数少ない会社の一つになります。

■変わる3Kのイメージ

下水道管路内の作業ということもあり、時には過酷な現場もありますが、地域の営みが続く限り永続的に続く仕事という意味では非常に安定した業界ですし、事実、更生工事の引き合いは年々右肩上がりで増えています。長く安心して働けるのも魅力の一つです。

技術の進歩は目覚ましく、極力手間や時間をかけず、なおかつ安全に配慮し施工が行えるようなシステムの導入も盛んに進んでおり、3Kのイメージも多少なりとも変わってきているように思えます。現場によっては半日足らずで終わったりと、必ずしも「現場＝キツい」だけではないですよ。

■現場のスペシャリストに

入社から1年半ほどは一般土木の部署で働き、その後下水道管路の更生を手がける今の部署へと移りました。現場工程や予算の管理、安全衛生対策に関する指導のほか、元請け企業との交渉・打ち合せなど全般を行います。最初は補佐としてスタートし、仕事に慣れた頃から現場代理人としてデビューします。更生工事のスペシャリストとしてさまざまな資格も取得していきます。今は1級土木施工管理技士が大きな目標ですね。自分の知見ノウハウや技術力が資格として公に認められる仕事というのも気持ちが良いものですね。

■強みを意識して

仕事柄、近県にも赴くケースが多いですが、長野県内の現場を担当した際、余暇にはウインタースポーツに興じるなど、行く先々でさまざまな体験ができます。旅行好き、アウトドア指向の学生さんにはぴったりかもしれません。今の部署は比較的若い世代の社員で構成されていることもあり、気さくに雑談を交わしたり、時には趣味の話に花を咲かせたりと和気藹々とやっています（笑）。

就職活動を考える上では、ぜひ業界の安定性、その業界における志望会社の立ち位置、できればその会社ならではの強みを意識してみてください。その中で管路更生の仕事に興味を持ってもらえたら、ぜひ当社に。

株式会社 極東技工コンサルタント https://www.kgc21.co.jp

大阪本社 大阪府吹田市南金田2-3-26 ファー・イースト21 ／ 東京本社 東京都台東区上野1-10-12 商工中金・第一生命上野ビル

水&環境の総合コンサルタント
Integrated consultant of water and environment

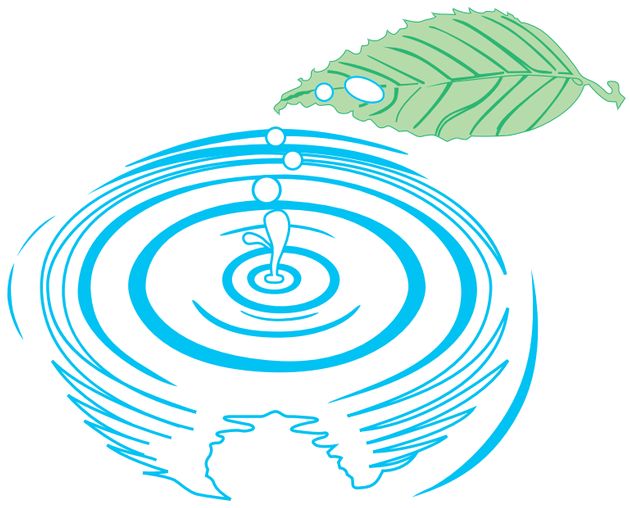
2022 健康経営優良法人 Health and productivity

社員は、会社の「財（たから）」です。
建設コンサルタント業界においては、他社に先駆け、年間を通じた週1回以上の定時退社および6月～10月には全社ノー残業マンスを実施し、残業時間の低減を実現するとともに、社員のワークライフバランスを大切にしています。

心身ともに健康で充実した社員が一丸となって、昭和49年（1974年）の創業以来、蓄積してきた技術力をさらに向上させ、地域に密着したサービスで水を育み、環境を守り、暮らしを豊かにする真のコンサルタントを目指しています。

大阪本社社屋

生命の水を守ります。



（公社）全国上下水道コンサルタント協会 会員
（一社）管路診断コンサルタント協会 会員
●調査●事業計画●実施設計●施工監理●診断●コンピューター解析

株式会社 三水コンサルタント 代表取締役社長 山 﨑 義 広

本社/大阪支社 〒530-0005 大阪市北区中之島6丁目2番40号 TEL.(06)6447-8181(代) FAX.(06)6447-8196
東京本社/東京支社 〒112-0002 東京都文京区小石川5丁目5番5号 TEL.(03)5976-9060(代) FAX.(03)5976-9077
中部支社 〒460-0008 名古屋市中区栄2丁目11番19号 TEL.(052)684-9300(代) FAX.(052)684-9301
西部支社 〒810-0801 福岡市博多区中洲5丁目6番28号 TEL.(092)282-7050(代) FAX.(092)282-7055
東北支社 〒981-0912 仙台市青葉区堤町1丁目1番2号 TEL.(022)728-7205(代) FAX.(022)728-7207